

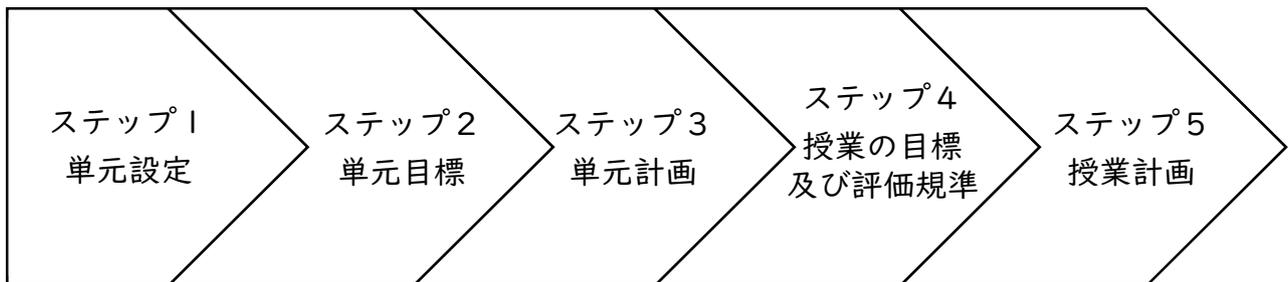
第2章

実践編

単元・授業計画の考え方	・・・20
授業実践（ダイジェスト版）の見方	・・・28
授業実践（ダイジェスト版）	・・・31
・ 小学部の授業実践（ダイジェスト版）	
・ 中学部の授業実践（ダイジェスト版）	

単元・授業計画の考え方

「単元・授業計画の考え方」とは、目指す授業改善のための具体的な考え方や方法を、単元設定から授業計画までの五つのステップでまとめたものです。



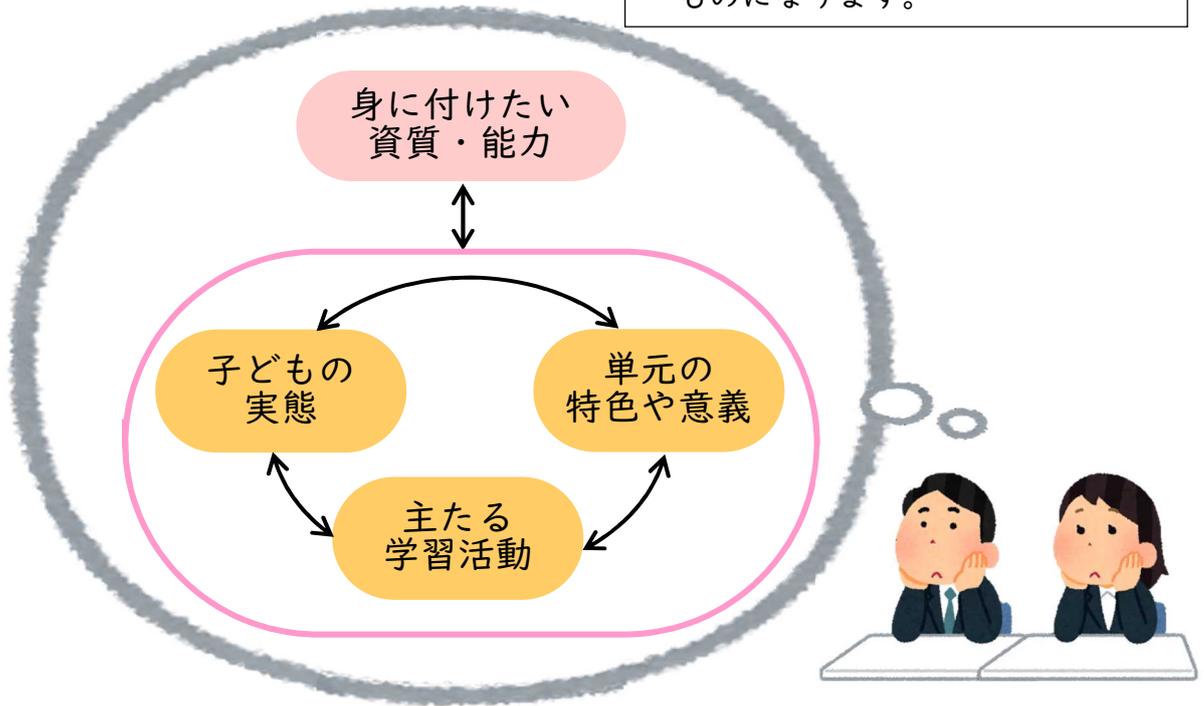
「単元・授業計画の考え方」をまとめる際、本センターが大切にしたことは、次の3点です。

- 子どもの思考の流れを重視すること
- 思考が表れた姿である「三つの学び」の姿の具現化・焦点化を図ること
- 「三つの学び」の姿を引き出すための具体的な支援の手立てを考えること

ステップ1：単元設定

身に付けたい資質・能力*を踏まえ、「子どもの実態」「単元の特色や意義」「主たる学習活動」について、相互の関連を見ながら整理し、単元を設定します。その際、「子どもの興味・関心や良さ、強みが活かされているか」「子どもの課題と単元の特色や主たる学習活動に整合性があるか」などの視点が大切です。

*身に付けたい資質・能力は、各教科や自立活動などの目標と関連したものになります。



ステップ1 - ①子どもの実態

学級や学習集団の子どもの興味・関心や、単元に関わる日常生活の様子、これまでの学習経験、集団としての強みや課題などを整理します。

ステップ1 - ②単元観

単元の特色や意義、主たる学習活動、期待される学習効果、単元を通して身に付けたい力や伸ばしたい力などを整理し、考えます。

ステップ2：単元目標

身に付けたい資質・能力を、より具体化・明確化した単元目標を設定します。

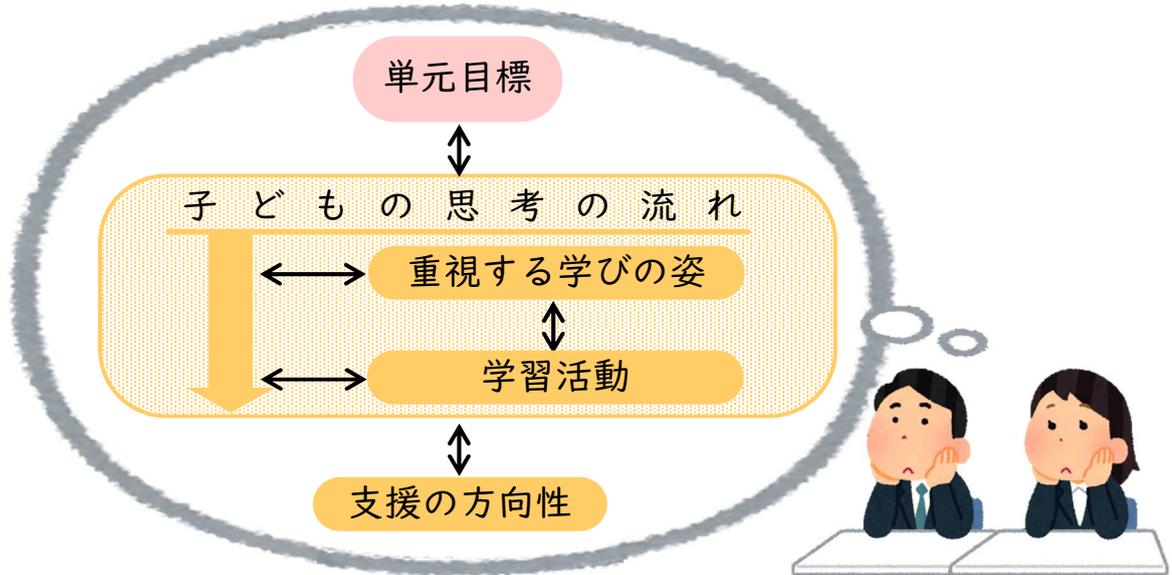
- ①学級全体の単元目標
- ②子ども一人一人の単元目標

- (知識及び技能)
- (思考力、判断力、表現力等)
- (学びに向かう力、人間性等)

資質・能力の三つの柱で設定します。

ステップ3：単元計画

単元目標を達成するために必要な「子どもの思考の流れ」を軸として、単元を計画します。「単元のどこで、どのような『三つの学び』の姿を引き出すか」（「重視する学びの姿」）を決め、「その姿を引き出すための活動は何か」という視点から、学習活動を検討します。また、「重視する学びの姿」を子どもの具体的な行動（具体的な学びの姿）で示し、その行動を引き出したり、次の思考につなげたりするための支援の方向性を考えます。



ステップ3 - ①子どもの思考の流れと重視する学びの姿

主たる学習活動に沿って、「子どもがどのような思考の流れをたどれば目標が達成されるか」「目標を達成するために必要な『重視する学びの姿』は何か」を考えます。

学習活動	重視する学びの姿			時数
	主	対	深	
1 ●●●●… (1) (2) (3) (4)				面白そうだな、やってみたい。 興味・関心や期待感を持つ 本当だ！どうしたらいいのかな？ 教師や友達とやり取りをする
2 ●●●●… (1) (2) (3)	○	○	○	
3 ●●●●… (1) (2) (3)	◎	○		
4 ●●●●… (1) (2)	○		○	

どんな思いや考えを、どんな順番で持ってほしいか、子どもの言葉で、思考の流れを考えます。

↓

子どもの思考に対応する「学びの姿」(pp.12-15 参照)を考えます。

↓

単元全体を見通し、「重視する学びの姿」を決めます。

「主体的な学び」は、単元全体を通して常に必要な「学びの姿」であるため、「主体的な学び」の姿を重視する学習活動を◎で、その他の学習活動を○で示しています。

「対話的な学び」、「深い学び」は、それぞれの「学びの姿」を重視する学習活動を○で示しています。

ステップ4：授業の目標及び評価規準

授業の目標を設定します。また、評価規準を明確にします。

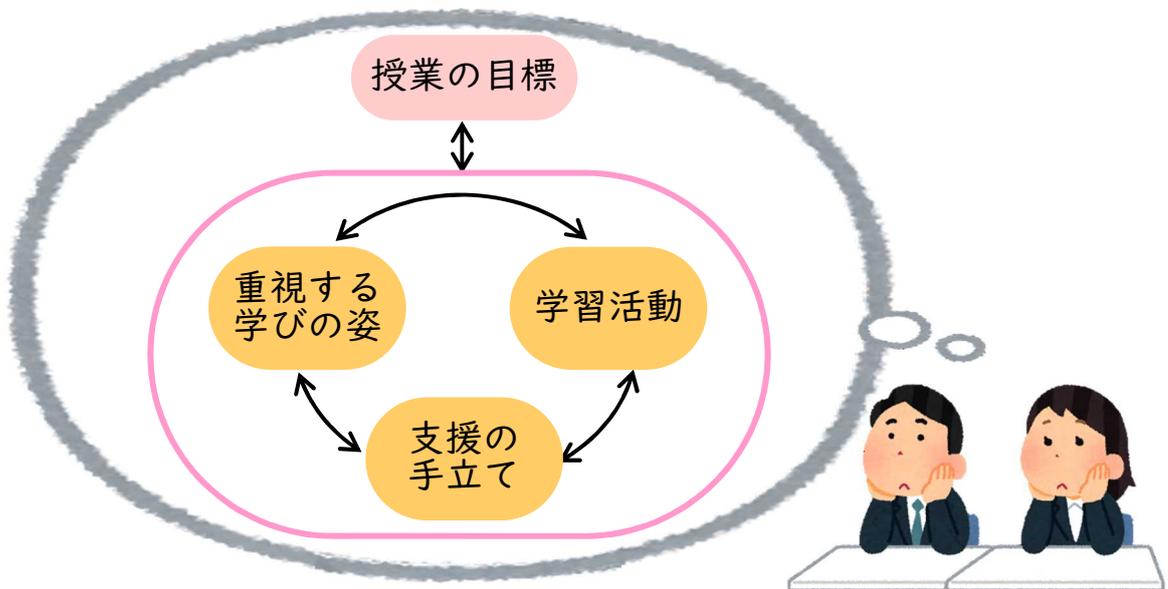
- ①学級全体の授業の目標
- ②子ども一人一人の授業の目標

- 〔評価規準〕
- （知識・技能）
 - （思考・判断・表現）
 - （主体的に学習に取り組む態度）

三つの観点で設定します。

ステップ5：授業計画

「重視する学びの姿」「学習活動」「支援の手立て」について考え、授業計画を立てます。「重視する学びの姿」「学習活動」「支援の手立て」は、独立しているものではなく、相互に関係し合うものです。そのため、全体及びそれぞれの妥当性を往還しながら検討し、決定していきます。



ステップ5 - α 重視する学びの姿

「ステップ3 - ③具体的な学びの姿」が、「どのような行動として見られることをねらうか」、概略を考えます。

例

活動	重視する学びの姿			時数
	主	対	深	
~~~~~				
●…	○	○	○	
●…				
~~~~~				

〇〇さんの次が、ぼくの係だ。
友達と協働する

自分の役割が分かり、友達の様子を見たり、友達の発言を聞いたりしながら、自分の役割に取り組む。

概略

自分の係や友達
の係が分かる。

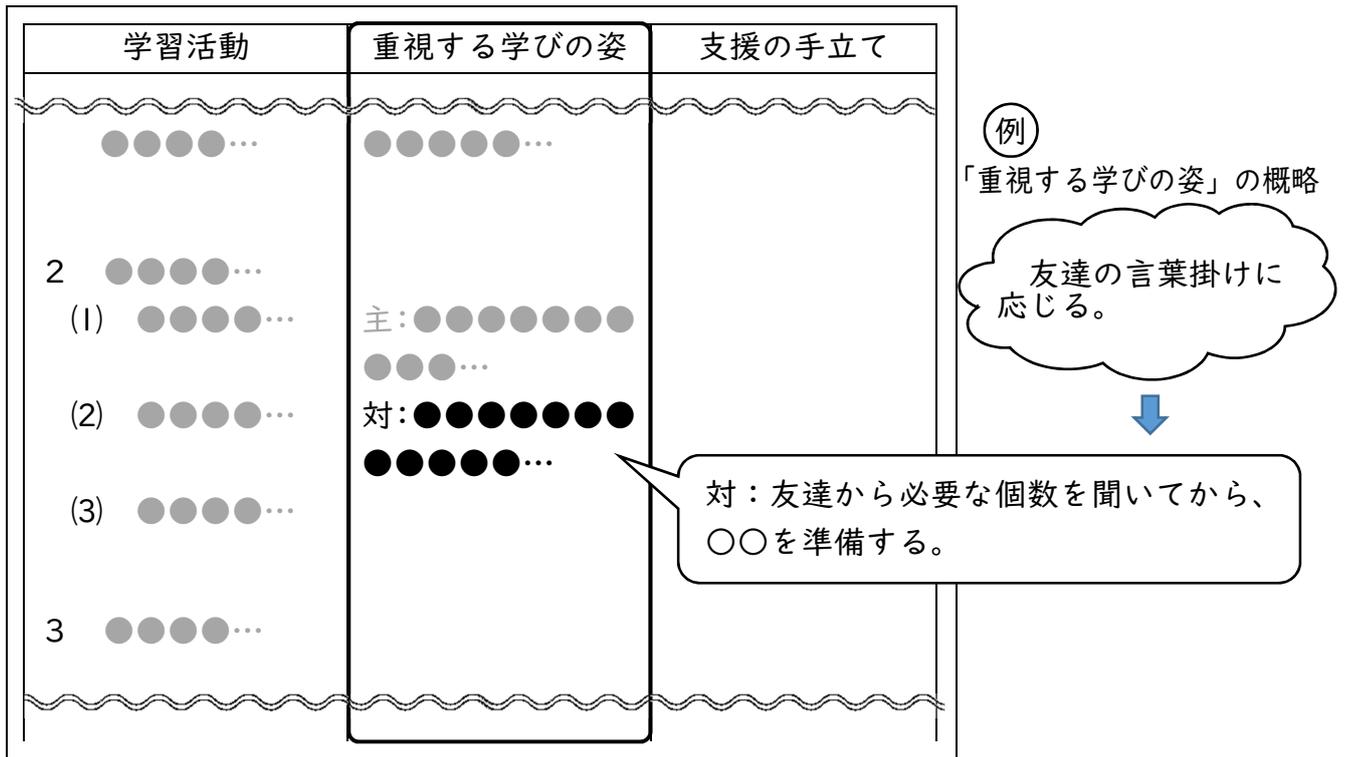
友達の言葉掛け
に応じる。

友達のやり方
をまねる。

参考資料〔補助資料1〕

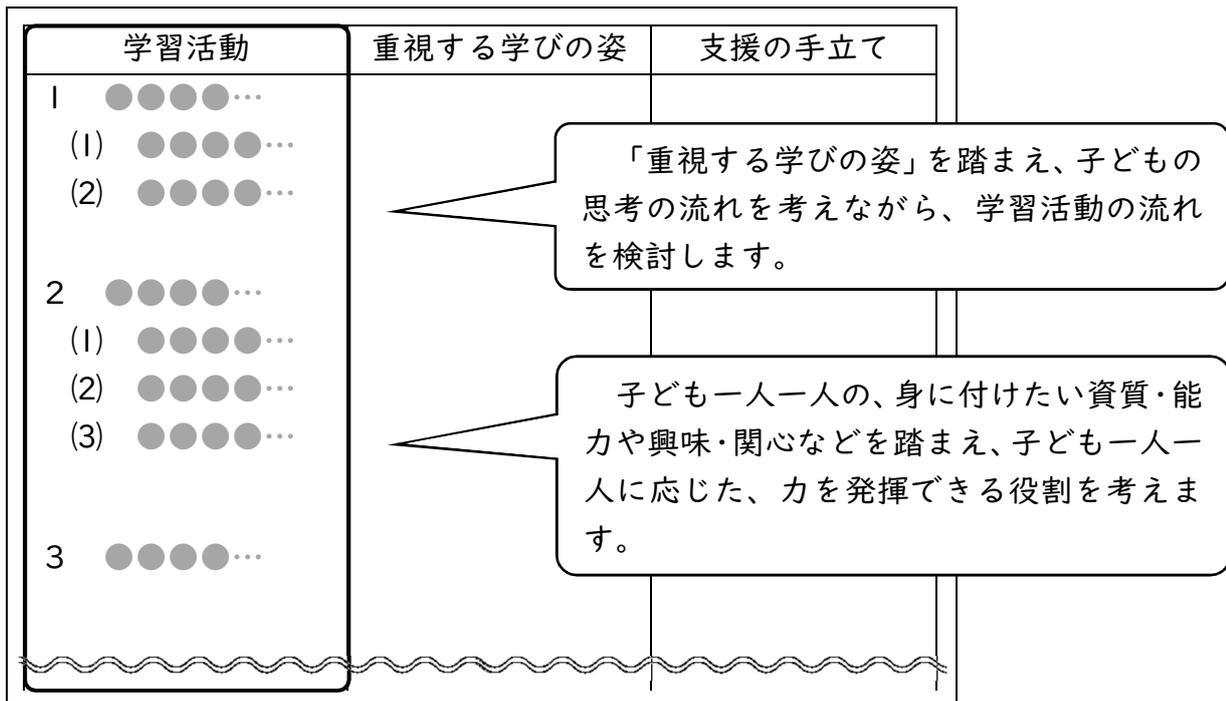
授業等でねらいたい「三つの学び」の姿

また、学習活動との整合性を確認しながら、「『重視する学びの姿』をどの場面でねらうか」「具体的にどのような行動で表れるか」を考えます。



ステップ5 - b 学習活動

学習活動の流れを考えます。また、学習活動によって子どもの役割があるときは、子ども一人一人の役割やグルーピングを考えます。



ステップ5 - c 支援の手立て

学習活動の流れに沿って、具体的な支援の手立てを考えます。

①「重視する学びの姿」を引き出すための支援の手立て

「重視する学びの姿」を引き出すための、支援の手立てを考えます。

②学級全体への支援の手立て

学級全体の実態を踏まえた、基礎的な支援の手立てを考えます。

③グループや子ども一人一人への支援の手立て

グループの活動に応じた支援の手立てや、個別に必要な支援の手立てを考えます。

学習活動	重視する学びの姿	支援の手立て
1 ●●●●…		
(1) ●●●●…	主：●●●●●● ●●●●●●…	・●●●●●●●●●● ●●●●●●… ・●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●…
(2) ●●●●…	主：●●●●●● ●●●●●●…	・●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●…
2 ●●●●…		
(1) ●●●●…	主：●●●●●● ●●●●●●…	・●●●●●●●●●● ●●●●… ・●●●●●●●●●● ●●●●…
(2) ●●●●…	対：●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● …	・●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●…
(3) ●●●●…	対：●●●●●●●●●● ●●●●…	・●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●…
3 ●●●●…	深：●●●●●●●●●● ●●●●…	・●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●…

場の設定や課題の提示方法、教具の工夫、言葉掛けの仕方、場面設定など。

例 「重視する学びの姿」
対：友達から必要な個数を聞いてから、○○を準備する。

・工程表に担当児童の写真を掲示し順番を示すとともに、△△係は依頼する友達の名前を呼ぶようにする。

参考資料〔補助資料2〕

「三つの学び」の姿を引き出すための年間指導計画・単元計画・授業計画を考える際のポイント

ステップ5 - d環境設定

学習活動に応じた場の設定や教員の役割を考えます。

